



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは

山田耕平

こうへい

です

2026.1.1 No.549

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください！

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohhei.jp

右QRコードを
ご活用下さい

2026年 新しい年の幕開け 声を集め、動かし、実現へ 「対話」が力に 区民の声で杉並区が変化

**前向きの変化が加速した一年
確かな前進、そして定着へ**

2026年の新しい年が幕を開けました。

2025年は、岸本区政のもとで進められてきた「対話の区政」が制度や予算、現場の改善として実を結んだ一年となりました。区民が参加し声を上げ、その声が区政を動かす—その変化が、はつきりと形になっています。党区議団は前向きの変化をさらに進めるため論戦に取り組んでいます。



日本共産党杉並区議団を
代表して、第1回定例会で
代表質問。3回の定例会で
一般質問。

物価高騰からくらしを守る 支援継続と賃金に届く対策へ

この間、ワークショップや説明会、デザイン会議など、年間150回を超える対話の場が開かれ、延べ一人以上の区民が区政に参加しました。区民意向調査でも、「区政が身近になつた」「参加してみたい」という声が広がっています。

長引く物価高騰は、区民のくらしと、保育・介護・障害者施設、そして現場で働く人たちを直撃しています。党区議団は一貫して「ケアする人をケアする対策」「働く人への支援」を求め続けてきました。その結果、2025年末の補正予算で、保育・介護・障害者施設への食材費・光熱費支援の継続に加え、区立施設などの長期継続契約における労務費引き上げが実現。急激な物価上昇分を、現場で働く方の賃金に反映される仕組みへ改善されました。

子どもの居場所・権利を守る 「方針」から「具体化」へ

2025年は、子ども施策でも大きな前進がありました。「杉並区子どもの権利に関する条例」が施行され、子どもの権利相談・救済窓口もスタートしました。子ども自身が声をあげ、守られる仕組みが動き出しています。

児童館が廃止された地域では「中学校区に児童館がない7地域」について、新たに児童館を整備する方針について、重点施策として進行管理していくことも確認されました。10年以上にわたる議会論戦と、住民のみなさんの声が実った成果です。

物価高騰対策を緊急申し入れ 1月の臨時会補正予算に反映を

物価高騰がさらに深刻化するもとで、昨年11月・12月には、区長に対し緊急対策を求める申し入れも実施しました。新年1月14日には区議会臨時会が開会予定です。区民のくらしを支援する対策として、補正予算に反映することを求めました。

党区議団と岸本区長。
昨年末に2回に亘る申
し入れを実施した。

高騰対
策
申
し
入
れ
昨年末に実

2026年も現場から まちづくりは住民主体で



区長メッセージの全文は上記QRコードから確認できます。

メソセージで区長は、優先整備路線に選定されたからといって、直ちに事業着手する考えはないことを明確にし、高円寺北口については再開発を進める立場には立たないと明言。住民と一緒に取り組むとしました。まちづくりを検討することを求めてます。

岸本区長がメッセージ発信 拙速な事業化や再開発を否定

この間の一般質問等では、都市計画道路の整備によって喪失する商店街等の街並みやコミュニティ等の定量化できない地域資源への議論を深め評価し、まちづくりに反映することを求め続けてきました。

都市計画道路は、防災などの役割を持つ一方、地域の暮らしや街並みに大きな影響を及ぼします。全国的に道路計画の見直しが進む中、東京都では道路中心の計画が見直されていなことは大きな問題があります。杉並区においても、区施行路線の優先整備路線が残っていることは課題です。

道路に頼らないまちづくりを 商店街や「ミニユーティこそ



都の方針(案)に対するパブリックコメント 1月30日まで実施中です。ご意見をお寄せください。左QRコードから。

外環道シールドマシン 杉並区到達 住民説明会求める陳情 趣旨採択

東京外かく環状道路(外環道)シールドマシンが、昨年12月25日に杉並区内へ到達しました。

練馬区の掘進では、振動や低周波音による住民の健康被害が発生しており、工事に起因するものとして、国土交通省外環国道事務所計画課長が住民に対して謝罪しています。

シールドマシンの区内到達に際し、地元住民が区議会道路交通対策特別委員会に住民説明会開催を求める陳情を提出し、趣旨採択となりました。

*委員会質疑を受け、意見交換会場(下記)はホールへ、人数制限や申し込み不要となりました。

外環道工事のオープンハウス開催

場所: 杉並区勤労福祉会館3階・ホール

日時: 令和8年1月21日(水)

オープンハウス 18:00~20:00

意見交換の場 19:00~20:00 ホール

シールドマシン掘進に伴う身体不調等

低周波音測定を実施しています

お困りごと等がありましたら、

お気軽にお問合せください。

山田耕平 090-9973-0941



社会福祉士の専門性活かして

昨年も保健福祉委員を務め、区議会最長の15年目となりました。社会福祉士の専門性を活かして論戦に取り組んでいます。

負担増の国民健康保険料引き下げを

国民健康保険料の負担増が深刻です。引き下げを求める徹底論戦に取り組み、2025年度の保険料は一部引き下げとなりました。一方、来年度の保険料は引き上がる見通しです。



国保問題で委員として質疑。

質疑では、東京都内の自治体の保険料水準が全国で最も高い水準となり、都は医療給付費が全国3番目に低いにもかかわらず、納付金と保険料がともに全国1位という矛盾した構造を抱えていることを明らかにしました。

昨年の一コマ

年末は「火の用心」で地域回り



昨年末、荻窪消防団第3分団の団員として、地域の年末警戒活動に参加しました。地域の自治会の「子ども火の用心」にも娘と共に参加。大変寒い日でしたが、子どもたちは元気いっぱい「火の用心！」と声を出していました。